

令和元年度 臨床看護学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

神戸美輪子, 上坂智子, 森岡広美, 兒嶋章仁, 吉井輝子, 阿部香織, 今井幸子, 川端明雄, 永田浩子

2019.9

Hiromi Morioka: Changing the Ideal Model of Nurses to Nursing Students after Undergoing Comprehensive Practice, 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars in Chiang Mai, Thailand, 2020.1

B. 研究活動の概要

個人およびグループ研究（学外との共同研究含む）を主に研究を行った。

Megumi Kawaguchi, Hiromi Morioka, et.al: Parents Action of Person with Schizophrenia: Preparing for the Future of Children after Parents Pass Away, 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars in Chiang Mai, Thailand, 2020.1

C. 論文・短報

1. 著書・原著

神戸美輪子（松木光子監, 宮地緑編）: 看護学臨地実習ハンドブック－基本的考え方とすすめ方－第5版（分担執筆）, 第4章専門分野Ⅱ成人看護, 71-94, 金芳堂, 2019, 京都.

Midori Kawamura, Hiromi Morioka, et.al: Thoughts of Community-dwelling Individuals with Schizophrenia About Their Medications – A Pilot Study, The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science in Osaka, 2020.2

片山美穂, 北岡和代, 中本明世, 川村みどり, 森岡広美, 川口めぐみ (2019): 抑うつ状態にある母親の育児中に子どもに感じる思いと育児行動のプロセス, 日本看護科学学会学会誌, 第39巻, 174-182.

【国内】

阿部香織, 宮井信行, 辻久美子, 戸村多郎, 横井賀津志, 竹下達也, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄: 中高齢者の骨格筋量減少リスクを評価する簡易栄養チェックシートの作成のための予備的検討, 第78回日本公衆衛生学会総会, 2019.10

2. 総説

3. 学会発表・学術講演

【海外】

Miwako Kanbe, Yasuko Hosoda: Hiring and reinstatement training of inactive registered nurses from the nursing managers' viewpoint, International Council of Nurses (ICN) Congress, Singapore, 2019.6.

中山摩希子, 宮井信行, 阿部香織, 辻久美子, 竹下達也, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄: 中高年女性における年齢階層別にみた血清尿酸値と骨格筋量との関連, 第78回日本公衆衛生学会総会, 2019.10

Wakako Fujita, Miwako Kanbe: How an aging simulation can transform perceptions of elderly people in high school students aspiring to become nurses, The 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia / Oceania Regional Congress, Taiwan, 2019.10

辻久美子, 宮井信行, 阿部香織, 倉澤茂樹, 竹下達也, 内海みよ子, 宮下和久, 有田幹雄: 地域在住中高齢者における冷え性とその随伴症状との関連－中年期と高齢期の比較, 第78回日本公衆衛生学会総会, 2019.10

今井幸子, 藤本由美子, 服部園美: A 県高齢者施設に従事する看護師の車椅子座位行動に関する要因, 第50回日本看護学会学術集会－看護教育－, 和歌山, 2019.8

Akiyo Nakamoto, Hiromi Morioka, et.al: Values Transformation of a Mid-Career Nurse Who Returned to Work After an Absence Due to Mental Health Disorders, TEA International Conference in Osaka,

今井幸子, 藤本由美子, 服部園美: 高齢者施設に従事する看護師の安全管理の意識に関連する要因, 第45回日本看護研究学会学術集会, 大阪, 2019.8

森岡広美：成人看護学（慢性期）演習における学生の看護過程の理解度の実態調査，日本看護診断学会 第25回日本看護診断学会学術集会，名古屋，2019.7

森岡広美：成人看護学における救急看護演習受講後の学び，日本看護学教育学会 第29回日本看護学教育学会学術集会，京都，2019.8

森岡広美：成人看護学実習直前にシミュレーションを用いたヘルスアセスメント演習を体験した看護学生の理解度の実態，日本看護研究学会 第45回日本看護研究学会学術集会，大阪，2019.8

中本明世，森岡広美ら：メンタルヘルス不調による離職経験をもつ看護師の価値変容プロセス-分岐点における発生の三層モデルを用いた分析を試みて-，日本質的心理学会 日本質的心理学会学術集会，東京，2019.9

森岡広美：ヘルスアセスメント（成人看護学）におけるシミュレーション学習に対する学生の評価，日本看護科学学会 日本看護科学学会第39回日本看護科学学会学術集会，金沢，2019.11

増田真也，北岡和代，森岡広美：看護師の就業継続意思に影響を及ぼす要因の検討 病院調査とWEB調査の比較から，日本看護科学学会 日本看護科学学会第39回日本看護科学学会学術集会，金沢，2019.12

長門幸枝，吉井輝子，大野悦子：認知症フロアにおける転倒転落要因を活かした多角的な転倒予防対策の効果，第50回日本看護学会学術集会-慢性期看護-学術集会，鹿児島，2019.11

4. 研究費獲得状況

神戸美輪子（研究代表者），潜在看護師が臨床現場で行っている経験学習の状況と潜在看護師を受け入れる組織風土，科学研究費 若手研究（B）2018～2021年度。

神戸美輪子（研究分担者），新人看護師の自尊心を向上させるための教育担当者教育支援プログラム開発，科学研究費 基盤研究（C）2016～2019年度。

5. その他

特になし

D. 社会活動・その他

阿部香織：泉佐野市立生涯学習課主催『東洋医学「未病スコア」～経絡のびのび体操とスマート薬膳～』講演 2020.2.16

今井幸子：和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 高齢者看護学1コマ授業 2019.7
大阪府立泉大津高等学校体験授業 2019.5

上坂智子：日本公衆衛生学会認定専門家（第796号）
2019.4～2020.3 登録有効期限2022年3月31日
岡山家族看護研究会 企画委員 2019.4～2020.3
地域保健・医療・福祉活動研究会 企画委員
2019.4～2020.3

神戸美輪子：開智高校オープンセミナー，2019.7
日本看護倫理学会第12回年次大会 大会運営ボランティア，2019.6

兒嶋章仁：模擬授業「看護師になるために大学で学ぶこと」，川西緑台高校，2019.7

永田浩子：日本看護倫理学会第12回年次大会 大会運営ボランティア，2019.6

森岡広美：富田林市市営葬儀対策委員 副委員長 2018-2020
富田林市 mira-ton 会議実行委員 2017-2020
2019 日総研セミナー「基礎から学ぶシミュレーション教育の指導法・支援のコツ」講師
芥川さくら会 QOD 講演会 2019.8

吉井輝子：日本看護倫理学会第12回年次大会 大会運営ボランティア，2019.6
介護老人保健施設はーとびあ，ボランティア，2019.12，2020.1

E. 個人研究のテーマの概略

阿部香織：・地域在住高齢者における骨格筋量減少リスクを評価する簡易栄養チェックシートの開発と有効性の検証

・未成年者の塩分摂取評価尺度の開発と活用
について

今井幸子：高齢者の車椅子座位における安全について、
高齢者施設（特養・老健・療養病院等）で働く
看護職員の認識

上坂智子：訪問看護師の技の可視化

川端明雄：精神科看護師のスティグマに関する研究

神戸美輪子：潜在看護師の復職と定着、看護教育関連の
研究

兒嶋章仁：卒後の若手看護師を対象とした主体的・個別
的学習支援について－大学のサポートによる
勉強会開催の効果と参加者の認識－

永田浩子：本人・家族の意向を尊重した意思決定支援

森岡広美：・Quality of Death および Advance Care
Planning に関する実態調査
・地域に根ざした ACP 実践支援モデルの構
築－共に暮らす全世代で QOD を考える－
・女性看護師のライフステージと就業継続意
思を決定する要因との関連について

吉井輝子：介護老人保健施設における多職種連携による
転倒予防効果